

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//工芸科学教養科目 : //Science and Technology Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月4 : /Mon.4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10311401			
科目番号 /Course Number	10360001			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	京都学講座（人間と社会） : Kyoto study lecture series(human and social studies)			
担当教員名 / Instructor(s)	/(小沢 修司)/他 : OZAWA Syuji/etc./			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	第2部「京都の経済」では6回の講義で京都府内の企業や企業・産業の育成を支援する関係機関・団体等からゲストスピーカーを招き、京都の経済が抱える課題、企業や産業の育成に必要な支援等について講義いただく。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>(第1部 近代京都と三大学) 第2回~8回</p> <p>皆さんが学ぶ京都の三つの大学が誕生した背景と、それぞれが果たしてきた役割を学び、自分たちが暮らす京都の歴史と現代社会について深く理解する。また、それぞれの大学が京都の産業、経済、医療、教育、福祉にどのように関わり、地域社会を発展させてきたかを学ぶことにより、自分たちがこれからどのように京都の社会に貢献できるかを探る、また自分たちの将来像を見つける手がかりとする。</p> <p>(第2部 京都の経済) 第9回~15回</p> <p>府内の企業をはじめ企業や産業の育成を支援する関係機関・団体</p>
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	

英	
---	--

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第1回（第1部 近代京都と三 大学）	ガイダンス（オンデマンド方式）
	英		
2	日	第2回	伝統産業の近代化～美術と意匠（デザイン）の再発見
	英		
3	日	第3回	博覧会と産業近代化～岡崎の内国博覧会と京都の産業史
	英		
4	日	第4回	京都府の農業近代化～京都府の農業近代化の歴史
	英		
5	日	第5回	京都府の酒造業の近代化～京都府の酒造業の近代化と関連産業の発展
	英		
6	日	第6回	近代京都と医学～医療、京都府立医大略史、明石博高の時代と近代の福祉事業の誕生
	英		
7	日	第7回	近代都市・京都の建設～都市基盤を築いた三大事業、琵琶湖疏水による水資源と電力、そして衛生事業
	英		
8	日	第8回	女子教育の歴史～明治初期の女紅場から始まる京都の女子教育の歴史
	英		
9	日	第9回（第2部 京都の経済）	企業を支援する関係機関の取組①～京都銀行の概要と京都経済の特徴
	英		
10	日	第10回	企業を支援する関係機関の取組②～中小企業の事業承継問題、事業承継問題の解決手段としてのM&Aについて
	英		
11	日	第11回	企業を支援する関係機関の取組③～大学とアントレプレナーシップ
	英		
12	日	第12回	企業を支援する関係機関の取組④～中小企業の技術・商品開発、販路開拓への支援等
	英		
13	日	第13回	地域の特色ある産業振興の取組
	英		
14	日	第14回	府内企業の取組～企業理念、経営戦略、人材観等
	英		
15	日	第15回	講義のふりかえりグループワーク～講義の振り返り、まとめ
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	特になし
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	授業内に配布した資料や紹介した参考文献及び資料について、自身の理解度を確認するように。 本講義に対しては、67.5時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	テキストは使用せず、適宜レジュメを Moodle（京都工芸繊維大学提供）にて配布する。参考書については、必要に応じて授業

	内で紹介します。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	<p>(第1部 近代京都と三大学) レポート課題で評価。ただし、レポートの提出資格は第1部（全7回）のうち4回以上の出席を要件とする。</p> <p>(第2部 京都の経済) 授業後に提出するコミュニケーションペーパー（講義内容への感想や意見等）：第2部の50%。 レポート課題（講義内容を踏まえて、テーマを設定。講義最終日には提出したレポートをグループで報告・討論する）：第2部の50% レポート提出資格：第2部（全7回）のうち5回以上出席</p> <p>第1部と第2部の評点を加算して最終の評点とする。</p>
英	

留意事項等 Point to consider	
日	<p>この授業は対面で実施しますが、オンライン講義により開講することがあります。また、授業の一部をオンデマンド方式で配信します。担当教員やゲストスピーカーの都合により順番が前後し、内容を変更する場合があります。変更の際は別途通知します。</p> <p>教材の学習、課題提出、自習等を含め、単位修得に必要な学修時間を確保する計画です。</p>
英	